

登録No. U-028
 登録名 Cabazitaxel療法
 催吐性リスク 軽度
 適応疾患 前立腺癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ファモチジン デキサメタゾン リン酸加ルフェエラミン 生食	20mg/body 6.6mg/body 5mg/body 100mL/body		d1	d.i.v.	30min	
Rp.2	カバジタキセル 生食	25mg/m ² 250mL/body		d1	d.i.v.	1hr	メンブランフィルター（0.2又は0.22μm）使用 粘調度高いため、輸液総量の1.5倍量をDrip-eyeに設定
Rp.3	ペルフィルグラスチム	1筒/body		d2	S.C.		カバジタキセル投与24時間以降に皮下注
Rp.4	プレドニゾン	10mg/body/day		d1~21	p.o.	朝昼食後	

1クールの間 21日間
 その他（副作用・PS規定等）

Neutr：適切な治療にも関わらずG3以上が1週間以上持続、FN又は好中球減少性感染：発現したら
 Plt：2.5万/mm³未満、AST・ALT：ULN×1.5以上又はT-Bil：ULN×1.5以上、末梢性ニューロパチー：G2
 下痢：G3以上、又は水分・電解質補給等の適切な治療にも関わらず持続する下痢
 上記に該当した場合はカバジタキセル：20mg/m²に減量 減量後も副作用があらわれる場合は中止を考慮
 【中止基準】
 末梢性ニューロパチー：G3

メンブランフィルター（0.22μm）付きDEHPfreeの輸液セットを用いて投与
 副作用：骨髄抑制・感染症、重篤な下痢、腎不全、消化管出血、消化管穿孔、イレウス、重篤な腸炎
 末梢神経障害、不整脈、肝不全・肝機能障害、間質性肺炎